

質問
入院し、がんの手術を受けたため、現在休職中です。退院後は外来通院で抗がん剤治療を始めます。そして、職場

復帰するつもりです。でも、仕事を続けられるか心配です。今後の生活費も気になります。何か利用できる制度はありますか。

がん手術後の仕事復帰



秋月 佐代
徳島大学病院
社会福祉士

回答 がん治療はかり

でなく、仕事や生活、家族のことなど心配は尽きません。とても不安な気持ちだと思います。

休職中の生活保障には、傷病手当金があります。健康保険に加入している場合、4日以上連続で休業した時に、4日目から標準報酬日額の3分の2に相当する金額が、最長1年6カ月まで支給されます。勤務先の担当者や加入している健康保険の事務所、健康保険組合の窓口にご相談してください。

残念ながら国民健康保険には、この制度は

手当金や休暇制度 活用を



せん。

ありません。また、任意継続（退職後も引き続き個人で加入できる健康保険）の期間中に発生した病気には、傷病手当金が支給されま

毎日の生活費や医療費のほか、仕事への影響や休職について「迷惑を掛け申し訳ない」と落ち込み、仕事を辞めようか悩むことがあっても病気のために全て諦める必要はないのです。体調に合わせ、できることから考えることが大切です。病気のことを職場の同僚や上司に伝え、理解

国の第3期がん対策推進基本計画は、がん患者の離職防止支援や職場復帰、治療と仕事の両立支援を明記しています。

徳島大学病院は社会保険労務士による就労相談を月2回開催。さらにハローワークの専門相談員が月1回の出張相談を行い、がん患者の就労支援相談を受けています。ともに事前予約制で無料です。がん診療連携拠点病院でも、就労相談を実施しています。

がん治療と仕事を両立するための支援制度と注意点

- ・傷病手当金など休職中の生活保障
- ・職場の理解を求めること
- ・休暇制度の利用
- ・就労相談の活用



職場に伝え理解得よう

がん相談支援センターは就労相談や制度紹介だけでなく、さまざまながんの悩みに対応しています。気軽に何でも相談してください。（第4土曜掲載）